

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第1回 若松小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 6年 5月 17日(金) 16:00 ~ 17:00

2 場 所 会議室

3 あいさつ(委員長, 学校長)

(委員長)

- ・田植え体験を皮切りに、学校と地域が一体となった活動が始まった。明日は海岸清掃、次は運動会、除草作業、さつまいもの苗植えと続きます。子どもの成長にかかわっていきたい。ご協力をぜひお願いします。

(学校長)

- ・至らないところもありますが、職員一同子どもたちが生き生きと成長していけるよう全力で頑張ります。ご協力をお願いします。

4 協議内容

(学校長より)

(1) 本年度の学校運営について

- ①コミュニティ・スクール
- ②学校経営方針
- ③配当予算
- ④運動会

- ・今年度の重点目標達成に向けて、ボランティアの方を紹介していただきたい。
- ・昨年度の学校関係者評価を、今年度の学校教育活動にいかしていきたい。
- ・CSは校長が変わっても学校の方針が変わるものではない。
- ・P4の現状と課題について
 - 1 市で非認知能力に育む取組を始める。あきらめずやり抜く力や社会性を育てるため、支援を継続していく。
 - 2 5月末に授業公開予定。
 - 3 本校の体力テストの結果は良い。
 - 4 少し残念。継続して国語で力をつけたい。
 - 5 アンケートの結果から、自尊感情が低い。行き違いからトラブルになることもある。感情や行動をコントロールする経験を積ませたい。
- ・個別対応について…ほっとルーム、巡回すくすく、SLS、日本語指導の説明。
- ・配当予算…困っていることは、東側の教室のサッシが痛んでいて、雨漏りをしている。要望しているが直らない。視聴覚室の空調設備が壊れている。学校予算では直せない。子どもにとってよくない環境は整えたい。

(教頭より)

(2) 本年度行事について

(3) 地域コーディネーターから

- ・年度当初の活動について報告。
- ・田植え体験、運動会のボランティア調整。
- ・Co. 研修の還流。旭が丘小学校の取組について。本校では新しい Co. をみつけていきたい。
- ・学校運営協議会だよりについて。
- ・ラジオ体操参加人数の推移について。

(4) 意見交換

- ・学校ボランティアは何人ぐらい必要か。
- ・若松地区のボランティアは 157 名の登録があるがうまく回っていない。今後調整していく方向。
- ・地域の伝統文化（獅子舞等）が失われつつある。子どもの参加を呼びかけてほしい。
- ・光太夫顕彰会は学校を主体に全面協力していく。豊かな文化財を掘り起こして元気なまちづくりを。関係組織とも連携していく。
- ・ふれあいフェスタは全面復活で実施。新しい企画にも地域の積極的な協力を得られ、準備が進んでいる。また、光太夫資料室は今後どういう使い方をしていくか、いっしょに考えていきたい。
- ・ラジオ体操について気になっている。参加率が 9 割から 7 割に減少。子どもの健全育成のため、何か対策をしたい。
- ・時代の流れに合わせ、7 割になっても仕方ないのでは。保護者の方も働いており、無理は言えない。
→夏休みの初めと終わりなど期間を決めたり、子どもが話し合っ決めて決めるなど、次回検討していく。
- ・PTA より…黄色いレシートについて、廃品回収廃止について。

(5) その他

- ・危機管理マニュアル，学校いじめ防止基本方針について承認。

(6) CS 推進アドバイザーより

意見交換の中で活発に討論され、よかった。難しいところとしては、ボランティアについて、コロナがあけて新しい人を探さなければならない。人集めは口コミが一番。地域は伝統文化の継承を大事にしたいが、学校はまず地域学習を見直し、若松のよさを知ることから。ラジオ体操については、地域のつながりを目的にしているところもある。学校も時間を与えてもらって検討していく。